

【開会 午後4時00分】

1 開 会

2 出席委員の報告

3 競輪事業部長挨拶

○扇谷部長

皆様、こんにちは。函館市競輪事業部長の扇谷でございます。函館市競輪運営協議会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本日、委員の皆様におかれましては、何かと大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、市営函館競輪の運営にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げる次第でございます。

今年は年初に、能登半島で大規模な地震が発生したところであり、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、令和5年度の市営函館競輪は、5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけがこれまでの2類相当から5類に移行したことにより、令和元年度以来4年ぶりに入場制限等のない中で5月にはGⅢグレードの函館記念競輪を開催したほか、7月には2年ぶり5度目となる、GⅡグレードの特別競輪「サマーナイトフェスティバル」を開催し、開催中にはバンク内の光の装飾を強化して、バンク前にステージを設置しショーを行うなど、まさに「夏祭り」をテーマにしたイベントで開催を大いに盛り上げ、市民の皆様だけでなく、全国から多くのお客様にご来場いただき競輪の魅力に触れていただきました。また、その他の開催につきましても、開催関係者の皆様のご協力のもと、特に大きなトラブルが発生することもなく、昨年10月25日をもって、無事、全ての開催を終了することができました。

売上につきましては、既に委員の皆様には書面でもご報告させていただきましたがインターネット売上が想定以上に増加したこと等により、昨年10月12日付で弾力条項を適用し、売上予算を当初予算である311億円から12億

円増の323億円に変更しております。

全開催終了後の売上についても同様に書面にてご報告させていただいておりますが、323億5,078万9,900円と、弾力条項適用後の予算をさらに上回り、函館競輪史上第2位の売上となったところでございます。

これから始まります、令和6年度の市営函館競輪におきましては、5月にGⅢグレードの函館記念競輪を能登半島地震復興支援競輪としてナイトで開催するほか、6月には令和4年度に引き続き3回目となるGⅢナイト「ミリオンナイトカップ」を大阪・関西万博協賛競輪として開催することが決定しております。こうした話題性の高いレースを活かしファンの皆様に函館競輪の魅力をより一層発信して、函館競輪を盛り上げ、北海道で唯一の競輪場を将来にわたって継続することができるよう、今後とも努力してまいります。

令和6年度も函館競輪の素晴らしい1年となるよう、関係者一丸となって邁進してまいりますので、皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は、限られた時間ではございますが、よろしく願いいたします。

4 議題

(1) 報告事項

①令和5年度自転車競走事業特別会計補正予算(案)について

(資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明)

○今井会長

質問等ないか

○千葉副会長

令和5年度は、入場者数、売上ともに前年を大きく上回っている。これは、GⅡグレードのサマーナイトフェスティバルを開催した結果だと思うが、今後の特別競輪の誘致については、どのように考えているか。

○小林課長

今後の特別競輪の誘致についてのお尋ねでございますが、今年度開催した特別競輪である、G IIグレードのサマーナイトフェスティバルは、売上や来場者数において、高い水準で開催を終えることができたほか、競輪場内等での様々な施策により、市民の方はじめ、ご来場されたファンの皆様に楽しんでいただいたとともに、各種取組が関係する皆様から、一定の評価を得ているものと考えている。

競輪業界においては、令和7年度より特別競輪の開催枠組みが変更となり、サマーナイトフェスティバルは、これまでの3日制から4日制となり、開設記念競輪の開催ができなくなることや、女子オールスター競輪をはじめ、ガールズの特別競輪の新設等、業界においても更なる売上の向上や、新規ファン獲得に向けて、様々な取組が進められている。

このような中、函館競輪場としては、ナイター発祥の地として、ナイター競輪を中心に、継続して特別競輪の誘致を積極的に実施していきたいと考えており、令和7年度に開催される特別競輪においても、当競輪場として申請をしたところ です。

今後、市財政への還元、市民認知の向上、業界発展に寄与できるよう、努力してまいりたいと考えている。

○千葉副会長

了解した。

○鶴野委員

市営函館競輪売上額の推移を見ると令和5年度の年間売上額が323億5千万円となっているが、一方で歳入合計については324億4千9百万円となっており一致しない。この関係について教えていただきたい。

○扇谷部長

歳入合計につきましては、車券発売代金のほか、例えば有料席への入場料収入などの、競輪の売上とは違うその他の収入が含まれていることによる違いである。

○鶴野委員

では、323億5千万円という年間売上額に対応する収入額については324億4千9百万円の歳入合計ではないということか。

○扇谷部長

そのとおりである。歳入金額としては323億5千百万円の子券発売代金に、その他の収入額を加え、歳入合計324億4千9百万円としている。

②令和6年度自転車競走事業特別会計予算（案）について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明）

○今井会長

質問等ないか

○大門委員

解説74周年記念競輪には能登半島地震復興支援競輪、ミリオンナイトカップには大阪・関西万博協賛として、Gグレードレースにそれぞれ副名称が付けられている。具体的にはどのような支援や協賛を行うのか教えて欲しい。

また、資料でミリオンナイトカップの売上予算は30億円を見込んでいるとのことであるが、令和5年度予算で対応する開催は、開設73周年記念競輪の50億円となるのか。この額の違いは、ナイターであるため実績を勘案するとこのくらいの売上が見込まれるということか。

○小林課長

まず、令和6年度に開催されるGグレードの、副名称に係る具体的な支援や協賛についての質問についてお答えする。

5月16日から19日の4日間において開催する、函館競輪開設74周年記念競輪の副名称を「令和6年能登半島地震復興支援競輪」としていることについてであるが、当該開催は今年1月に発生した能登半島地震で被災された方の生活再建および被災地域の復興支援を目的として、競輪業界全体として支援金を拠出することが決定されており、開設記念競輪の収益から150万円を拠出する予定となっている。本件取り組みについては、全国の競輪場が対象になっており、競輪業界全体での支援想定額は7,000万円となる見込みである。

また、6月6日から9日の4日間において開催する、GⅢナイター競輪については、副名称を「大阪・関西万博協賛競輪」としている。

これは2025年に大阪・関西で開催される日本国際博覧会事業の整備のため、当該開催収益の2分の1を拠出することが業界で決定されているものである。

次に、ミリオンナイトカップの売上見込みを30億円としたことの根拠についてお答えする。資料には令和5年度売上予算に開設記念競輪のほか、特別競輪であるサマーナイトフェスティバルの記載があるが、これは令和5年度に開催したものであり、令和6年度のミリオンナイトカップと直接比較するような開催はない。ミリオンナイトカップの売上見込みは、直近の同様開催である令和4年度のミリオンナイトカップの売上実績をもとに見込んでいるものである。

○大門委員

大阪・関西万博協賛競輪では収益の2分の1拠出するとしているが、収益、拠出金はどの位の金額になると想定しているか。

○小林課長

大阪・関西万博協賛競輪開催に伴う想定拠出金額についての質問であるが、30億円の見込売上として計算すると約9千万円の開催収益を見込んでおり、これ

の2分の1を拠出することとなっていることから、4千万円から5千万円の拠出を想定している。

○大門委員

了解した。

○今井会長

収益の2分の1ということは、会計的に言い換えると利益の2分の1ということと説明があったが、売上の2分の1ではないということで間違いはないか。

○小林課長

そのとおりである。

○今井会長

了解した。

○鶴野委員

競走路改修について、工期と表面処理工事の内容について教えていただきたい。

○小林課長

工期については、6月9日まで開催するミリオンナイトカップの開催終了後の6月中旬から7月末までの工期を計画している。

また、工事内容だが、競走路には表面塗装を施しており、経年による劣化等に対応するための再塗装を主とする工事である。

○鶴野委員

競走路の仕様が変更となる内容ではないということで間違いはないか。

○小林課長

そのとおりである。

○鶴野委員

了解した。

③令和6年度函館競輪上期開催日程（案）について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき小林事業課長から説明）

○今井会長

質問等ないか

○千葉副会長

5月24日からのルーキーシリーズについて、もう少し詳しく教えて欲しい。

○小林課長

ルーキーシリーズについての質問であるが、当該開催はF IIグレードの枠外開催であり、希望を出して函館競輪場での開催が認められたものである。

当該開催は、3月に日本競輪選手養成所を卒業する新人選手達を、競輪ファンにいち早く知っていただくことを目的としたもので、全国の4競輪場で開催することができる。令和6年度は、富山競輪場、平塚競輪場、松山競輪場、そして函館競輪場の4競輪場で開催することとなっている。

日本競輪選手養成所卒業予定者の中には、地元から男子2名、女子1名の計3名の競輪選手がデビュー予定で、男子選手としてデビュー予定である中石選手候補生は、函館大谷高校出身で、インターハイの自転車競技において2冠を達成している。先日開催されたアジア選手権においても、銀メダルを獲得した。同じく男子でデビュー予定である札幌市出身の小堀選手候補生は、大学で自転車競技を経験し、全日本大学対抗選手権において2位の実績を持つ選手候補生である。ガ

ールズの佐藤選手候補生は、函館工業高校出身で、元々は陸上競技を経験し、函館競輪場の競輪選手育成を目的とする「ホワイトガールズプロジェクト」の訓練生として、アルバイトをしながら養成所に合格した。いずれの選手も今後の活躍が期待されている。

当該開催を契機に、地元プロスポーツ選手と競輪場が一体となり、競輪の魅力や新人選手について、一層市民の方々に伝えることができると考えている。

○千葉副会長

了解した。

○金子委員

私が今年度の市営函館競輪の開催に訪れた際に、初めて函館競輪場に来場されたと思われる方が入場料無料の案内が見つけれなかった様子で入場の仕方が分からず困惑していたところを手助けした経緯があったのだが、せっかく入場無料であれば来場者に対し入場無料であることをもう少しわかりやすく示してはどうか。

○小林課長

入場者のカウントに必要なゲートには入場無料の掲示はしている。

○扇谷部長

ゲートまで近づかなければ気付けないこともあるかと考えるので、入場無料の案内掲出について、令和6年度の開幕までに工夫をしたい。

○金子委員

よろしく願います。

(3) その他

○今井会長

その他，各委員からないか
(各委員：特になし)

○今井会長

以前，穴田委員から，委員の中でも競輪に詳しい委員やあまりなじみがない委員など様々な委員がいることから，見識を深めるため，過去に行っていた運営協議会委員による特別競輪等の他場視察を再開してはとの提案があった。

いきなり視察に行くのは日程調整も大変であり，他場において視察すべき点かわからない，等の懸念もある。函館競輪場と他の競輪場を比較するうえでも，一定程度の見識が必要であると考えることから，一旦競輪開催がどのような流れで運営されているのか，私自身もわからない部分が多くあるため，我々が学習できる機会も必要なのではないかと思っている。

そういった機会を設定することについて，競輪事業部に検討をお願いできないか。また各委員の意見等も伺いたい。

○小林課長

以前に穴田委員から頂いたご提案については，我々も検討をしているが，あまり多くの委員をお連れできない，また日程的にも調整が難しいというところがある。

ただいま，今井会長から頂いた提案については，函館競輪開催時に各委員に会場いただき，解説を交えながら競輪の知識を深めていただければ我々としてもありがたいので，後日，日程等を検討し各委員へ案内したいと考えるが委員の皆様はいかがか。

○大門委員

事務局から案内をいただければ参加しやすい。

○小林課長

Gグレード開催時は、職員の対応が困難となることから、普通開催での案内を検討し案内させていただければと考えている。

○今井会長

いきなり視察旅行を復活させるのも難しいと思うので、まずは函館競輪の普通開催での案内を受けるということで各委員よろしいか。

(各委員：異議なし)

○今井会長

異議なしということで、施策実施についてお願いします。

○小林課長

次回の運営協議会については、8月下旬に開催を予定している。

日程の詳細が決定後、別途ご案内させていただきたい。

=以上をもって終了=